

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート ひだまりの樹				公表日	令和8年3月16日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		スペースに余裕があり活動によって部屋を分けている。宿題は個別の部屋で行い、静かな環境を整えている。	今後人数が増えていくことが予想されるため、グループ活動ごと部屋を分けたり、庭スペースを使いながら分散していく予定です。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		現在は利用児童人数も少なくは配置数にも余裕が見られる。	今後利用者の人数が増えていくことが予測されるため、職員数も増やす予定である。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25%		今日の予定を分かりやすく示して見通しが立つように支援員と確認している。道具は片付けるべきところに写真を貼り1人で最後まで片付けが出来る様に配慮している。	建物が2階である。トイレスペースがもう少し広いとよい。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		常に整理整頓されている。掃除チェック表を用いて掃除・消毒を徹底し、環境整備している。子ども達の特性に合わせて場所を提供している。	消毒の徹底や清潔を心掛けている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		個別の部屋（1階相談室）を確保しており、気持ちが落ち着くまで使用できるようにしている。	必要時に庭スペースをもっと活用できるようにしていきたい。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	50%		毎日のミーティングで振り返りを行い、フィードバックを実践しながら、業務改善に活かしている。カードックスを使用し日々評価している。	カードックスをうまく活用し、問題点に対して評価の時期を定め取り組んでいきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者の移行を把握する為に、スタッフ全員で情報の共有に徹底している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		月に1度の全体ミーティングを実践している。意見を出し合いながら、スタッフからの業務に関する意見を集約して、業務改善に活かしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			3月末に外部評価を実施する予定である。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		県や市が勧める研修に参加して各自のスキルアップに繋げている。社内研修にも取り組みながら専門的な知識の学びの場を設けている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		スタッフ間で支援プログラムの内容を共有評価している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		保護者とのコミュニケーションを時間かけて行いながら、アセスメント表を丁寧に仕上げている為、サービス計画書に活かされている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	50%		スタッフ間で常に子どもの様子を共有する時間を設けている。支援計画書作成時には、児童発達支援管理責任者と話し合いながらすすめている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		子どもの振り返りや行動観察記録を行いながら、子どもの困った感を把握して、計画書の共有をしている。子どもに合わせた最適な支援を提供している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		保護者、相談員からの情報、行動観察から得た情報を共有してアセスメントシートに記載している。常にスタッフが		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		ねらい及び支援内容を共有し進めている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%		毎日の集団活動は、主になっている職員を中心にスタッフで意見を出し合いプログラムを決定している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		長期休みは遠方にお出かけをしたり、動物のえさやりに行ったりと、子どもが楽しむレクを取り入れている。食育にも力を入れて平日のおやつ作りや、長期休みの昼食もクッキングを行っている。	こどもの人数も増えてくるので、安全にみんなが活動に参加できる仕組みを作っていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		個別の療育、小集団での活動、集団プログラムを取り入れながら日々支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		毎朝のミーティングで活動内容や送迎担当、お迎え時の時間に間違いがないか確認している。子どもの様子の共有をして、よりよい支援が出来るように連携している。	全職員で打合せをしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25%		行動観察の記録を行い、振り返りを行っている。子どもの様子を話し合いながら、スタッフ間で共有している。	気になる出来事はカードックスに記入していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		毎日の行動観察記録を大事にしなが、話し合いを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	50%		子どもの様子の変化を話し合い、共通認識を持っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	50%		毎日の活動は充実しているが、地域交流活動はこれから繋がりを作っていく。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		2つの中から1つを選ぶ分りやすい自己選択をして、自己決定が出来る支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		市内のこども相談支援センターの方とも情報共有しながら進めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		年間計画、月の行事と下校時刻は予定表をもらい管理している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	25%		新規事業所のため、今後児童発達支援事業へ情報共有のためにいく予定がある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%			新規事業所のため、現在は情報共有の機会がなかったが、今後関係機関へ情報共有のしていく機会を作っていきたいと考えている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		現在まだ児童発達支援センターとの関りはないが、新年度に向けて利用児童に対し助言に伺う予定がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%		出来ていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0			現在は参加はなし。 今後参加していく方向である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			送迎時の申し送り様子で伝えている。保護者との情報共有を大切にしている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0			現在できていない。 計画的にペアレントトレーニング等の機会を提供していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	50%			契約時に説明をしている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			作成した時、評価の時期（6カ月に1度）に保護者に来所してもらい報告確認をしている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		ご家族に対し声掛けや心配ごとはないか等聞くように心がけている。また、	面談や送迎時に話す機会を作っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		25%	実施できていないため、保護者の意見を取り入れながら進めていきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情は現在上がっていないが、苦情があった場合、迅速に対応できるようにしている。	日ごろから、声掛けを心掛けている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		通信やInstagramを定期的に配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		職員に定期的な確認や研修を実施する予定である。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		丁寧な声掛けを心掛けている。確認ができるよう、LINEで再度流す等している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		開所時には地域の方々に内覧会を開き来所して頂いた。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		会議や研修の中で確認を繰り返しテイク予定である。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			定期的に行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		薬の変更があった場合には、その都度情報をもらっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		その日にアレルギーがある子がいるかどうかを職員みんなで確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハットはその日のうちに作成し職員で情報共有し再発防止への対応を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			研修機会を設けている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%				